

公共交通地区別座談会 九重地区

開催結果報告書

平成30年11月22日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的	3ページ
1.公共交通地区別座談会（九重地区）実施概要	4ページ
2.九重地区の特徴など	5ページ
2-1.九重地区の位置（GIS地図から）	6ページ
3.館山市の公共交通の現状に関する説明	7ページ
4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明	7ページ
5.グループワーク	8ページ
5-1.九重地区で出された意見	10ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（九重地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）11月14日（水曜日）午後2時から午後3時30分

【会場】

- ◆九重地区公民館

【参加者数】

- ◆九重地区住民12名（女性6名、男性6名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（館山日東バス社員）
- ◆グループワーク
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化・移動について困っていることや課題だと思いませんか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
 - 最後に、市職員が出された意見等を集約し、発表

2.九重地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆ 館山市東部に位置し、丘陵が平野を包み込むような地形となっている 地名は、明治22年に9つの村が合併したことに由来している
- ◆ 酪農や農業が盛んな農村地域である

【商店分布・交通の状況】

- ◆ 国道128号沿いにおどや九重店、スーパーときわややウェルシア薬局など、複数の商業施設が所在している 病院も立地している
- ◆ JR内房線の九重駅を有するほか、館山日東バスの「館山鴨川線」が国道128号を、「千倉線」が稲交差点から千倉方面への県道を水岡方面に通っている
- ◆ 竹原・江田・寶貝集落等が、上記各路線の駅やバス停から遠い公共交通空白地となっている

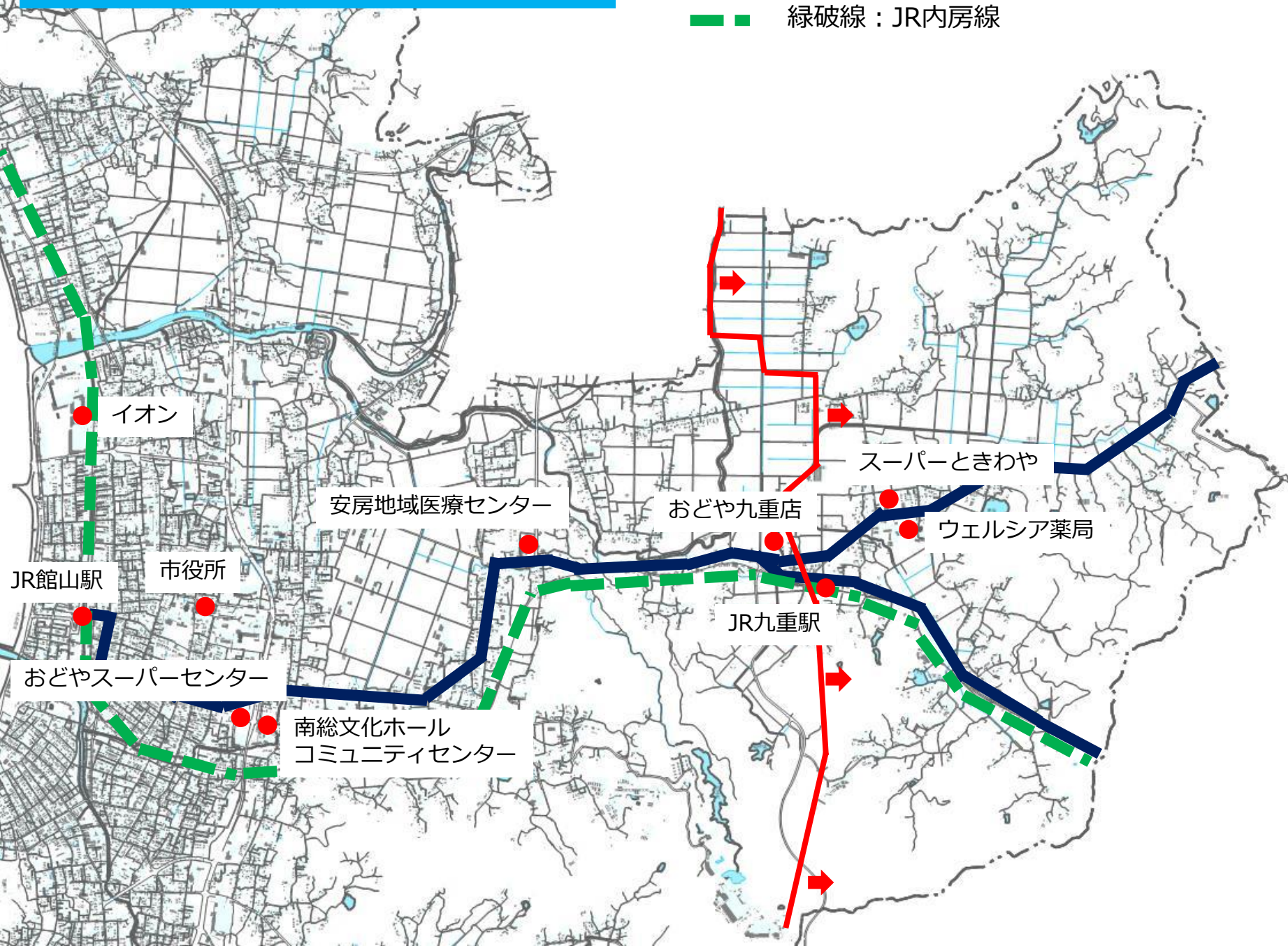
【人口の状況等】 ※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

- ◆ 4月1日現在、地区人口1,743人（平成20年度比88.8%）
高齢化率39.7%（平成20年度高齢化率28.0%）
集落別高齢化率：寶貝46.5%、水岡46.2%、安東44.0%、二子31.1%、藪37.2%
水玉33.0%、大井46.2%、竹原40.3%、江田43.9%
国道や九重駅に近い二子、藪、水玉以外の集落では、高齢化率が40%を超えている

2-1.九重地区の位置 (GIS地図から)

■ 青線：館山駅からのバス路線

■ 緑破線：JR内房線



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆竹原・江田や宝贝についてはバス停から遠く公共交通を使えない

・他の集落ではバス停まで自転車で行く人もいるが、竹原からは最低2km程度あるため歩けない

◆公共交通空白地を解消するため、巡回バスのようなものを走らせてほしい

◆免許返納したくてもできない状況である

・車がないと生活が成り立たないため、送迎してくれる人（家族等）がいないと免許返納できない

◆公共交通のあり方が変わった今、福祉のための観点で考えていく必要がある

◆地区ごとに状況が異なるので、それを踏まえた施策を展開すべきである

◆買物は地区内で済むが、大きい店には車がないとなかなか行けない

・おどややときわやがあるため買物は問題ないが、車がないとイオンやユニクロ等の店舗には行くのが大変
・竹原などからは、ときわやまででも遠くて大変である

◆通院は車がないと1日がかかりになる

・九重への送迎がない病院に行くため、一度館山駅まで出てから送迎に乗り換えることもある

5.グループワークの結果（2/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆スクールバス混乗を進めてほしい

- ・スクールバスのルートは竹原なども網羅しており、使いやすいと思う
- ・スクールバスに乗せてもらえれば便利になる

◆館山駅や九重駅に鉄道利用者が使える駐車場を設けてほしい

◆九重駅のバリアフリー化を（上りホームへは階段の上り下りが生じる）

- ・利用者が混乱する恐れもあるが、行き違いを行わないときは上りも含め全列車を駅舎側で発着させてほしい。

◆タクシーは予約が取りづらく、夜間も（台数が減って）不便になった

◆高速バス（館山駅ゆき）の経路を南総文化ホール経由にしたらどうか

- ・館山駅には駐車場があるものの有料、とみうら枇杷クラブは駐車場が混雑して止められないこともあるので、南総文化ホールのパーク&ライド駐車場を活用したらどうか

◆路線バスがなくならないようお願いしたい

5-1.九重 出された意見

公共交通空白地

バス停まで自転車で行く

九重地区は、竹原、江田が不便

竹原からバス停まで最低2kmあり歩くのが大変

寶貝の奥の方もバス停まで600mくらいあり遠い

公共交通空白地解消のための移動手段を

巡回バスのようなものを走らせてもらえないか

10人乗りの小さなバスでいいから運行してほしい

免許返納が難しい

今は自家用車に乗れているが、免許返納後の足を考える必要がある

送迎してくれる家族がいないと（夫婦2人や独居）免許返納できない

免許返納したくてもできない

高校生の通学手段

高校生（30人くらい）は九重駅まで自転車又は家族の送迎

女子生徒は安全面等から特に送迎になる

近隣の人々の送迎

近所の人にお金を払って送迎を頼むこともある

公共交通のあり方を考える

昔と今で公共交通のあり方が変化した

人を運ぶことから、福祉のためへと変わる必要がある

住民と行政がもっとタイアップする必要がある

地域内での支援は行っておらず、10年後はもっと厳しくなる

共助で公共交通を維持している自治体もあるため対応が必要

地域ごとに対応を考える必要がある

市内でも地区ごとに状況異なるので、地区別に考える必要がある

周辺部も恩恵が受けられるようにしてほしい

5-1.九重 出された意見

買物先について

日常の買物はほとんどがときわやかおどや

竹原からときわや間は、独居老人には大変な距離

ときわやの駐車場は混雑していて入りづらい

車がないとなかなか大きい店には行けない

ユニクロなどにはなかなか行けない

イオンにはバスが入るようになり便利になった

市役所へのアクセス

市役所へは、南町から歩くか館山駅からタクシー

福祉タクシーについて

福祉タクシーができて、病院送迎に使えるようになった

福祉タクシーの利用実績を調べる必要がある

通院について

ときわややおどやには行けても、病院に通うのは大変

たてやま整形外科への通院の際、館山駅まで行って送迎バスを使うこともある

たてやま整形外科の送迎は九重に来ない

通院は1日がかかりとなる

路線バス 月曜は千倉から医療センター等に通院で乗っている人が多い

バイパスにバスを

バイパスにバスが通ると便利になる

スクールバス混乗

スクールバス混乗が便利ではないか

スクールバスのルートなら使える そのまま駅まで行ってもらえればなお良い

バスの小型化

バスを小型化しても運行費用にあまり差は出ない

運転手の人件費が費用の大半を占めるため

バスに関する意見等

昼間はバスに1、2人しか乗っていない

バス待ちの際、運転手が気づかずに通過してしまったことがある

バスの運転手は若い人が多いので安心して利用できる

10時台のバスがないと不便

バスがなくならないようお願いしたい

千倉線は残してほしい

5-1.九重 出された意見

駅利用者用の駐車場を整備してほしい

館山駅、九重駅とも駅利用者の駐車場がない

館山駅は、有料駐車場か北条海岸を使う必要がある

できれば利用者無料の駐車場がほしい

タクシー予約が取りづらい、料金が高い

タクシーが混んでいて断られることもある

夜間のタクシー利用が不便になった

足が痛いときタクシーを利用するがなかなか予約が取れない

タクシーは、九重から館山駅まで3,000円くらいかかる

鉄道について

鉄道はあまり利用しない

亀田病院ゆきのバスは乗換がなく鉄道より便利である

九重駅ホームについて

九重駅の上りホームを利用するときは階段の上り下りが必要

行き違いがないときは上り下りとも駅舎側ホーム発着にしてほしい

列車によってホームが変わると利用者が混乱しないか

高速バスについて

高速バス利用時は枇杷クラブに車で行くことが多い

枇杷クラブまで行っても所要時間に大差ない

枇杷クラブの駐車場は混雑していて止めづらい

文化ホールは高速バスの本数が少ない

館山駅ゆき高速バスの経路を八幡でなく文化ホール経由にしたらどうか